

経営比較分析表（令和元年度決算）

三重県 度会町

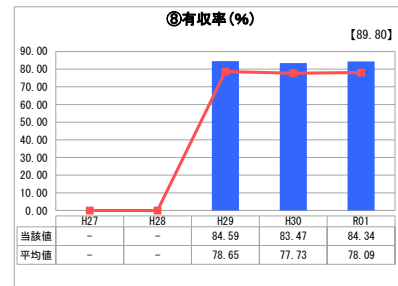
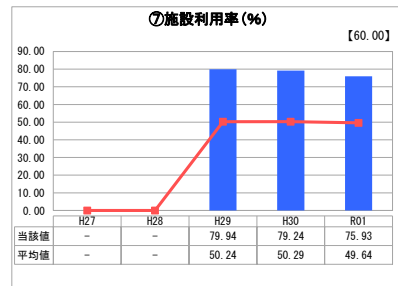
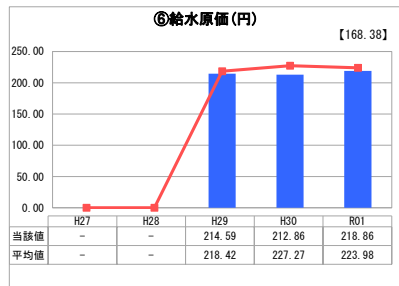
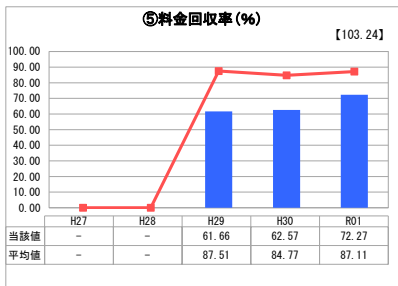
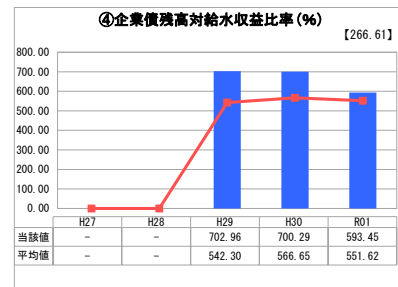
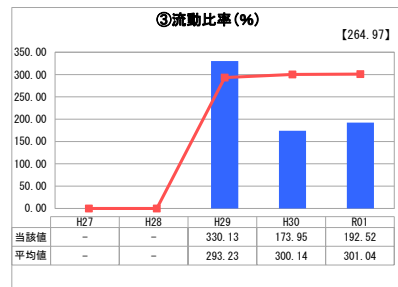
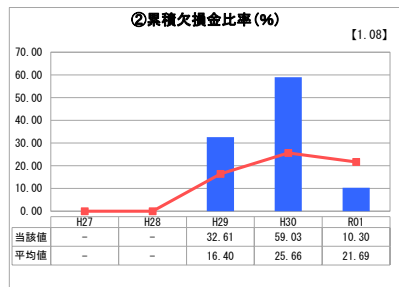
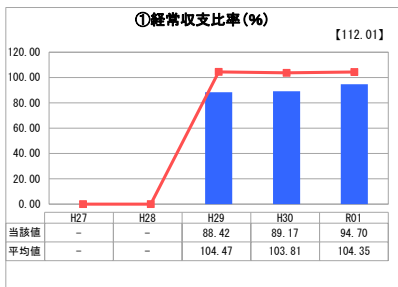
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A8	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)	
-	73.56	99.86	3,240	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
8,147	134.98	60.36
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
8,084	21.70	372.53

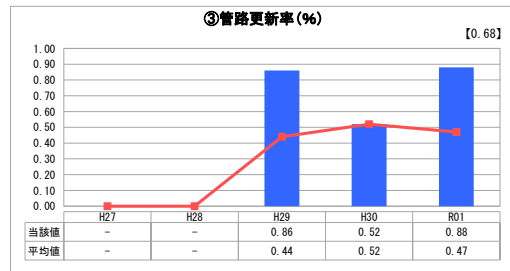
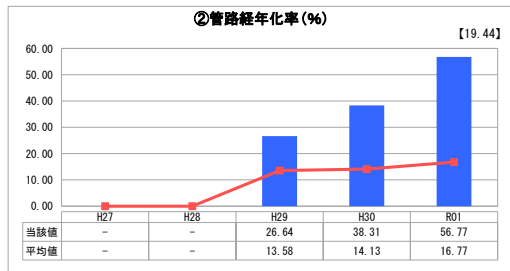
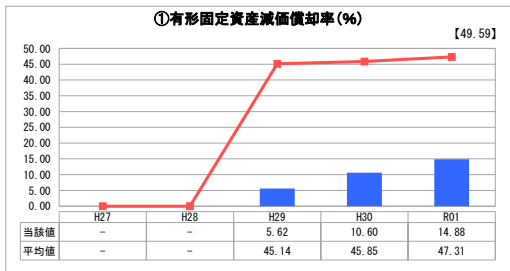
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- [] 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

当町の令和元年度経常収支比率は94.7%と100%未満となったが、水道料金改定を行ったことから、前年度比で5.53ポイント改善した。(以後5年毎程での改定が必要)

上記料金改定により、累積欠損比率は前年度比で大幅に改善し、類似団体平均値を下回った。また、近年の統合整備事業で多額の費用投資を行った結果、企業債残高対給水収益比率は類似団体平均値を大幅に上回っていたが、上記料金改定による収益増加により、同比率は改善した。

料金回収率及び供給単価は上記と同じ理由で横ばいであるのに、給水原価は施設維持等の経費とも高止まりとなっており経費削減に苦慮している。

施設利用率は類似団体平均値を上回っているものの、年々低下傾向にあり、人口の減少による配水量の減が大きな原因となっているが、加えて施設の耐震化対策等の事業により更なる悪化が懸念される。

有収率は漏水調査を実施し、早期対応しているため高い効率性を維持している。

2. 老朽化の状況について

当町の管路は旧簡易水道創設時の昭和50年代に布設されたものが多く、経年化率は類似団体平均値の倍であり、早急に耐震化を兼ねた更新が必要であるが、経営状況により大規模な更新が行えない。

全体総括

当町の経常収支比率・企業債残高対給水収益比率は類似団体平均値及び全国平均を下回っているものの、令和元年度の水道料金改定に伴う収益増加により、同指標は改善傾向にある。

令和元年度策定「経営戦略」に基づき、あらゆる面での費用削減を図り、計画的な料金改定の実施により財源確保に努めなければならない。